



中南米の貿易における中国のプレゼンス増大

主任研究員 北島 啓治

世界貿易における中国の大躍進は中南米貿易にも顕著な形で影響を与えつつあり、また両者の経済的政治的絆も強まりつつある。国連ラテンアメリカ委員会(ECLAC)の2002 - 2003年版の報告書において「中南米との経済関係への中国のWTO加盟の影響」という題で1章が設けられている。同報告書では中南米は中国を3つの視点からみている。すなわち、労働集約製品市場における強力な競争相手、一次産品や製造品の消費市場、ならびに国際場裡において開発過程を防衛する同盟国。

アジア向けの中南米の輸出については、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、ペルーが主要な輸出国であり、これら4ヶ国で全体の64%(2003年)を占める。また、伸び率では2003年は前年と比べ26.3%であり、中でもアルゼンチンが47.4%、ブラジルが33.3%とそれぞれ高い伸びを示した。輸出先では日本と中国が主要な輸出先であり、2003年に中国が日本に代わって第一位となっている。

(百万ドル)

	アジア(日本含む)		日本		中国	
	2002	2003	2002	2003	2002	2003
中南米	25,090	31,679	6,351	7,351	6,317	10,890
アルゼンチン	3,179	4,686	371	343	1,092	2,659
ブラジル	8,566	11,422	2,098	2,311	2,520	4,533
メキシコ	2,300	2,452	465	606	456	509
ペルー	1,535	1,731	374	391	597	675

(出所)ECLAC

中南米からの中国の主要な輸入品は農産物(大豆、種子、砂糖)、鉱物(鉄鉱石とその精鉱、銅とその精鉱、硝石)、アルミニウム、液体天然ガスなどのエネルギー資源である。中でも、大豆は2001年に中国の総大豆輸入の57.1%(中国の対中南米総輸入の24.1%)、鉄鉱石とその精鉱は同27.1%(8.8%)、銅とその精鉱等は同38.5%(14.3%)。中国の総輸入に占める中南米の割合は2001年に2.7%とわずかであるが、食糧、鉱物、エネルギー資

源は将来的に中国の経済発展にとって不可欠かつ自給できないであろう重要な産品である。

このように、中南米は戦略的に中国にとってますます重要な地域となっている。他方、中南米にとっては、中国は一次産品やその加工品の輸出市場として有望視されているが、一方で中国からの輸入は中南米のいくつかの国の労働集約産業に大きな打撃を与える可能性は十分ある。交易条件を考えた場合、長期的には貿易上中南米に不利となる可能性もあり、貿易摩擦が生じるかもしれない。このように予想される困難を中国と中南米がどのように打開してゆくのか注目される。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2004 Institute for International Monetary Affairs (財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokuchō 1-Chōme, Chūō-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話：03-3245-6934（代）ファックス：03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>